

2014年10月24日

## 成田空港の2014年冬ダイヤ定期航空会社別スケジュール

**総発着回数・就航都市数・乗り入れ航空会社数が開港以来最高**

**～全ての項目で開港以来最高を記録～**

- ◆ 成田空港における2014年冬ダイヤ(2014年10月26日～2015年3月28日)の定期航空会社別スケジュールについて、総発着回数(4,244回/週)、就航都市数(海外101都市、国内17都市、合計118都市)、乗り入れ航空会社数(87社)で開港以来最高となりました。
- ◆ 発着回数について
  - ・ 総発着回数は、新規航空会社の就航が相次いだことや増便により、今夏ダイヤより26回増え、開港以来最高の4,244回/週となりました。
  - ・ 国際線は、特にタイ・エアアジアX(9月1日)、ジェットアジア・エアウェイズ(10月2日)、エアアジアX(11月21日就航予定)といった東南アジアからの旺盛な訪日旅客需要を背景とした旅客便の新規就航や、貨物専用航空会社のエアインチョン(4月21日)の新規就航等により今夏ダイヤより11回増え、3,331回/週となりました。
  - ・ 国内線は、春秋航空日本の新規就航(8月1日)、ジェットスター・ジャパンの増便や熊本線の運航開始(10月26日)などLCCを中心に引続き好調で、今夏ダイヤより15回増え、913回/週となりました。
- ◆ 就航都市数について
  - ・ 就航都市数は、国際線のベトナム航空/ダナン線(7月16日)、タイ・エアアジアX/バンコク・ドンムアン線(9月1日)などの新規路線開設や、国内線のバニラエア/奄美大島線(7月1日)、春秋航空日本/佐賀線(8月1日)、ジェットスター・ジャパン/熊本線(10月26日)の新規路線開設により、海外101都市、国内17都市、合計118都市(122路線)と開港以来最高の就航都市数となりました。
- ◆ 乗り入れ航空会社数について
  - ・ このような各航空会社の就航により、乗り入れ航空会社数も開港以来最高の87社となりました。なお、12月8日から香港エクスプレスの新規就航が予定されており、これにより乗り入れ航空会社数が88社となり、より充実します。

2014年冬ダイヤ 定期航空会社別スケジュール発着回数

総計

(単位:回)

区分	区 分	週間発着回数			増 減	
		14冬①	14夏②	13冬③	①-②	①-③
総計	国際線	3,331	3,320	3,318	11	13
	国内線	913	898	822	15	91
	国際・国内線計	4,244	4,218	4,140	26	104
	日平均	606	602	591	4	15

国際線(旅客便)

(単位:回)

区分	略号	航空会社名	週間発着回数			増 減	
			14冬①	14夏②	13冬③	①-②	①-③
第1ターミナル北ウイング	ACI	エア・カレドニア・インターナショナル	10	10	8	0	2
	AFL	アエロフロート・ロシア航空	14	14	14	0	0
	AFR	エールフランス航空	14	14	28	0	△ 14
	AMX	アエロメヒコ航空	8	6	6	2	2
	AZA	アリタリア・イタリア航空	26	28	26	△ 2	0
	CSA	チェコ航空★(KALとのコードシェア)					
	CSN	中国南方航空	30	30	30	0	0
	DAL	デルタ航空	248	262	286	△ 14	△ 38
	GIA	ガルーダ・インドネシア航空	28	28	28	0	0
	HVN	ベトナム航空	46	38	38	8	8
	KAL	大韓航空	98	98	94	0	4
	KLM	KLMオランダ航空	14	16	18	△ 2	△ 4
	KQA	ケニア航空★(KALとのコードシェア)					
	SHU	オーロラ航空	2	0	0	2	2
	VIR	ヴァージンアトランティック航空	14	14	14	0	0
第1ターミナル北ウイング 合計(15社)			552	558	590	△ 6	△ 38
第1ターミナル南ウイング	AAR	アジアナ航空	42	56	56	△ 14	△ 14
	ABL	エアバスン	14	14	14	0	0
	ACA	エア・カナダ	20	36	30	△ 16	△ 10
	AJX	エアージャパン	14	14	14	0	0
	ANA	全日本空輸	470	476	526	△ 6	△ 56
	ANZ	ニュージーランド航空	20	14	12	6	8
	AUA	オーストリア航空	12	12	12	0	0
	BER	エアベルリン★(ETDとのコードシェア)					
	CCA	中国国際航空	86	86	86	0	0
	CDG	山東航空★(ANAとのコードシェア)					
	CSZ	深セン航空★(ANAとのコードシェア)					
	DLH	ルフトハンザドイツ航空	14	14	28	0	△ 14
	ETD	エティハド航空	14	14	14	0	0
	ETH	エチオピア航空★(ANAとのコードシェア)					
	EVA	エバー航空	42	42	36	0	6
	JAI	ジェットエアウェイズ★(ANAとのコードシェア)					
	MGL	MIA Tモンゴル航空	4	4	4	0	0
	QTR	カタール航空(14年夏ダイヤより第2PTBへ移転)	-	-	14	0	△ 14
	SAA	南アフリカ航空★(ANAとのコードシェア)					
	SAS	スカンジナビア航空	14	14	14	0	0
SIA	シンガポール航空	42	42	42	0	0	
SWR	スイスインターナショナルエアラインズ	14	14	14	0	0	
THA	タイ国際航空	42	42	42	0	0	
THY	ターキッシュ エアラインズ	28	28	28	0	0	
UAL	ユナイテッド航空	188	210	224	△ 22	△ 36	
UZB	ウズベキスタン国営航空	2	2	0	0	2	
VAU	ヴァージン・オーストラリア★(SIAとのコードシェア)						
第1ターミナル南ウイング 合計(26社)			1,082	1,134	1,210	△ 52	△ 128
第1ターミナル 合計(41社)			1,634	1,692	1,800	△ 58	△ 166
第2ターミナル	AAL	アメリカン航空	52	52	52	0	0
	AIC	エア インディア	6	6	10	0	△ 4
	ALK	スリランカ航空	8	8	8	0	0
	AMU	マカオ航空	8	8	8	0	0
	ANG	ニューギニア航空	2	2	4	0	△ 2
	AWE	USエアウェイズ★(AALとのコードシェア)					
	BAW	ブリティッシュ・エアウェイズ	14	14	14	0	0
	BKP	バンコク・エアウェイズ★(JALとのコードシェア)					
	CAL	チャイナエアライン	80	62	56	18	24
	CEB	セブパシフィック航空	14	14	0	0	14
	CES	中国東方航空	44	44	44	0	0
	CPA	キャセイパシフィック航空	70	70	70	0	0
	ESR	イースター航空	14	14	14	0	0
	FIN	フィンランド航空	14	14	14	0	0
	JAA	ジェットアジア・エアウェイズ	8	0	0	8	8
	JAL	日本航空	552	554	580	△ 2	△ 28
	JJA	チェジュ航空	28	28	28	0	0
	JST	ジェットスター	36	24	34	12	2
	LAN	ラン航空★(JALとのコードシェア)					
	MAS	マレーシア航空	26	36	36	△ 10	△ 10
	PAL	フィリピン航空	56	70	26	△ 14	30
	PIA	パキスタン国際航空	4	4	4	0	0
	QFA	カンタス航空	14	14	14	0	0
	QTR	カタール航空(14年夏ダイヤより第1PTBから移転)	14	14	-	0	14
	SBI	S7航空	10	10	10	0	0
	SCO	スクート	14	14	14	0	0
	TAX	タイ・エアアジアX	14	0	0	14	14
	THT	エア タヒチ ヌイ	4	4	4	0	0
	TNA	トランスアジア航空	14	14	14	0	0
	TSO	トランスエアロ航空	0	0	0	0	0
	UAE	エミレーツ航空	14	14	14	0	0
	VNL	バニラエア	62	56	0	6	62
XAX	エアアジアX	8	0	0	8	8	
第2ターミナル 合計(32社)			1,204	1,164	1,072	40	132
旅客便計(73社)			2,838	2,856	2,872	△ 18	△ 34

国際線（貨物便）

(単位：回)

区分	略号	航空会社名	週間発着回数			増減	
			14冬①	14夏②	13冬③	①-②	①-③
貨物便	AAR	アジアナ航空	6	6	4	0	2
	ABW*	エアブリッジカーゴ	6	4	4	2	2
	AFR	エールフランス航空	2	2	2	0	0
	AHK*	エアホンコン	12	12	12	0	0
	<b>AIH*</b>	<b>エアインチョン</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>8</b>
	AJX	エアージャパン	14	14	12	0	2
	ANA	全日本空輸	89	76	72	13	17
	CAL	チャイナエアライン	8	8	8	0	0
	CAO*	中国国際貨運航空	6	10	10	△ 4	△ 4
	CKK*	中国貨運航空	4	4	4	0	0
	CPA	キャセイパシフィック航空	16	16	16	0	0
	EVA	エバー航空	0	0	4	0	△ 4
	FDX*	フェデラルエクスプレス	96	96	80	0	16
	GEC*	ルフトハンザカーゴ	12	10	14	2	△ 2
	KAL	大韓航空	14	14	14	0	0
	MAS	マレーシア航空	4	4	4	0	0
	NCA*	日本貨物航空	110	106	106	4	4
	PAC*	ポーラーエアカーゴ	36	34	32	2	4
	THA	タイ国際航空	2	2	2	0	0
UPS*	ユナイテッドパーセルサービス	48	46	46	2	2	
貨物便計（19社 *うち貨物専用10社）			493	464	446	29	47
国際線計（83社）			3,331	3,320	3,318	11	13
日平均			476	474	474	2	2

国内線（旅客便・貨物便）

(単位：回)

区分	略号	航空会社名	週間発着回数			増減	
			14冬①	14夏②	13冬③	①-②	①-③
旅客便	ANA	全日本空輸	182	182	196	0	△ 14
	APJ*	ピーチ・アビエーション	42	34	28	8	14
	IBX*	IBEXエアラインズ	28	28	42	0	△ 14
	JAL	日本航空	84	98	168	△ 14	△ 84
	JJP*	ジェットスター・ジャパン	440	356	290	84	150
	<b>SJO*</b>	<b>春秋航空日本</b>	<b>56</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>56</b>	<b>56</b>
	SKY*	スカイマーク	0	84	80	△ 84	△ 80
	VNL	バニラエア	62	98	0	△ 36	62
旅客便計（7社 *うち国内線のみ就航4社）			894	880	804	14	90
貨物便	ANA	全日本空輸	19	18	18	1	1
	貨物便計（1社）			19	18	18	1
国内線計（4社）			913	898	822	15	91
日平均			130	128	117	2	13

- ・ 航空会社欄「★」：コードシェアのみの航空会社
- ・     ：2014年夏ダイヤ当初と比較して増となった航空会社
- ・     ：2014年夏ダイヤ当初と比較して減となった航空会社

- ・ この表は、IATA調整後のデータに基づきNAAにて週間発着回数を独自にとりまとめたものであり、国土交通省が取りまとめた数値とは一部異なる。
- ・ 2014年冬ダイヤは、2014年10月26日～2015年3月28日までの期間である。本発着回数は、ダイヤの切り替え後、各社の運航スケジュールが規則的に推移し始める時期の2週間分の発着回数を平均し算出している。2014年冬ダイヤにおける集計対象期間は、2014年11月9日～11月22日（14日間）とした。
- ・ 2014年夏ダイヤの週間発着回数は2014年4月6日～4月19日（14日間）を、2013年冬ダイヤの週間発着回数は2013年11月10日～11月23日（14日間）の発着回数をそれぞれベースとしている。

## 就航都市数: **118都市122路線**

〔海外〕101都市104路線(34カ国3地域)

〔国内〕17都市18路線

※2014年夏ダイヤ当初

〔海外〕100都市(34カ国3地域) 〔国内〕15都市 合計 115都市

### 【夏ダイヤ当初と比較して増となった都市・路線 6都市7路線】

- ・ダナン:ベトナム航空
- ・バンコク/ドンムアン:タイ・エアアジアX(路線の追加)
- ・モンテレイ:アエロメヒコ航空
- ・クライストチャーチ:ニュージーランド航空
- ・奄美大島:パニラエア
- ・佐賀:春秋航空日本
- ・熊本:ジェットスター・ジャパン

### 【夏ダイヤ当初と比較して減となった都市 3都市3路線】

- ・トロント:エアカナダ
- ・ティファナ:アエロメヒコ航空
- ・米子:スカイマーク

◆都市数と路線数の差異について

フランクフルトが FRA・HHN の2路線、モスクワが DME・SVO の2路線  
バンコクが BKK・DMK の2路線、大阪が ITM・KIX の2路線の差

## 定期乗り入れ航空会社数: **87社**

※2014年夏ダイヤ当初 82社

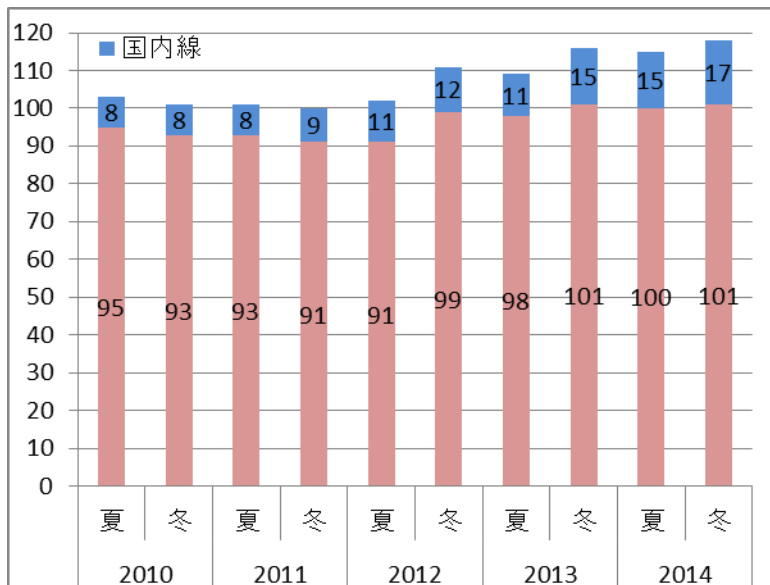
### 【夏ダイヤ当初と比較して増となった航空会社 7社】

- ・オーロラ航空:ウラジオストク線
- ・タイ・エアアジアX:バンコク線
- ・ジェットアジア・エアウェイズ:バンコク線
- ・エチオピア航空:香港線(全日本空輸とのコードシェア)
- ・エアアジアX:クアラルンプール線
- ・エアインチョン:ソウル線
- ・春秋航空日本:広島、高松、佐賀線

### 【夏ダイヤ当初と比較して減となった航空会社 2社】

- ・トランスアエロ航空:モスクワ線
- ・スカイマーク:札幌、米子、那覇線

就航都市数の推移



定期乗り入れ航空会社数の推移

年	ダイヤ	航空会社数
2010	夏	74
	冬	74
2011	夏	71
	冬	71
2012	夏	73
	冬	79
2013	夏	83
	冬	84
2014	夏	82
	冬	87

2014 年冬ダイヤ 成田空港における新規就航会社

■ 旅客便

航空会社	路線	回/週	就航時期	備考
オーロラ航空	ウラジオストク	2	7月31日から	アエロフロート航空の傘下であるサハリン航空とウラジオストク航空が統合して出来た航空会社。5月1日よりチャーター便として就航しておりましたが、7月31日より新規路線を開設いたしました。
タイ・エアアジア X	バンコク (ドンムアン)	14	9月1日から	バンコクを拠点とする LCC で、エアアジア X のタイにおける関連会社。4月1日よりチャーター便として就航しておりましたが、9月1日より定期便化いたしました。2015年3月26日より28回/週に増便予定です。
ジェットアジア・エアウェイズ	バンコク (スワンナプーム)	8	10月2日から	バンコクを拠点とした航空会社。2012年2月よりチャーター便として就航しておりましたが、10月2日より定期便化いたしました。
エチオピア航空	香港	14	10月26日から	エチオピアのアディスアベバを本拠地とする航空会社。冬ダイヤより全日空とのコードシェアを開始いたします。
春秋航空日本	広島	28	8月1日から	成田空港を拠点として、国内路線に就航する LCC。広島・佐賀・高松の3路線に運航を開始いたしました。佐賀は17番目の新規就航地となり、ますます国内線の利便性が高まります。
	佐賀	14		
	高松	14		

■ 貨物便

航空会社	路線	回/週	就航時期	備考
エア・インチョン	ソウル	8	4月21日から	韓国初の貨物専門航空会社で、4月21日から運航を開始いたしました。

■ その他、2014 年冬ダイヤ中の旅客便就航予定

航空会社	路線	回/週	就航時期	備考
エアアジア X	クアラルンプール	8	11月21日から	クアラルンプールを拠点とする中長距離 LCC。2015年3月1日より14回/週に増便予定です。
香港 エクスプレス	香港	14	12月8日から	香港を拠点とする LCC。2004年にフルサービスの航空会社として設立されましたが、2013年10月27日に LCC に轉換されました。

2014年冬ダイヤ 国際線旅客便の主な増便等(2014年夏ダイヤ比)

航空会社	回/週	内 訳
チャイナエアライン	+ 18	高雄+4(10→14) 台北+14(42→56)
ジェットスター	+ 12	メルボルン+8(0→8) ゴールドコースト+4(0→4)
ベトナム航空	+ 8	ダナン+8(0→8)
ニュージーランド航空	+ 6	オークランド+3(14→17) クライストチャーチ+3(0→3)
アエロメヒコ航空	+ 2	メキシコ+2(6→8)

成田空港におけるLCCの旅客便発着回数推移

